

2004年8・9月 合併号

Enfanter ● No.297

# あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む ②(計画などを)考え出す ③(作品などを)創り出すの意

1974年 女達は 家事の象徴の帯を  
魔女が帯で 空を飛ぶように  
自由をつかむためのものにしようと  
加藤登紀子・中山千夏らを招いて  
『魔女コンサート』を開いた

そこには 自分たちのやりたい事を  
自らの手で 作りだしていこう  
《創造する・作り出す・産みだす》という  
Enfanterの 原点があった

そのコンサートが きっかけで  
当時のメンバーが 新聞に  
「子持ち女集まれ!」と声をかけ  
Enfanterは 産まれた

あれから30年  
Enfanterの 考え方は変わらないが  
社会は変わった

これから どうしていこうか

詩・井上  
イラスト・井上



## 特集 「あんふぁんて」 今後をどうするか

—2004年度来期案アンケート報告とまとめ—

- |                          |      |                  |      |
|--------------------------|------|------------------|------|
| ミニ特集 「彼について思うこと」         | p.9  | ・あんふぁんてからあんふぁんてへ | p.11 |
| ・輝いて女と男 (エポック 10 祭り参加企画) |      |                  |      |
| ①自分らしく生きるために             | p.13 | ②子育て中だからこそ仲間が欲しい | p.14 |
| ・情報コーナー                  | p.16 | ・事務局から           | p.16 |

【特集】

「あんふあんで」

今後をどうするか

2004年度来期案アンケート

報告とまとめ



今年度の来期案アンケートの回答数は26で、会員数の一割です。アンケートの回答は少ないですが、「あんふあんでの今後をどうするか」という会の存続に関わる大切なテーマだったので、設問に対する回答は、紙面びつしりと書かれていたり、難しくして無回答だったりと苦心の様子が伺えます。皆さんの熱いものを感じながら、まとめました。(福野)

【あなたのこと】

1. 最近、腹が立ったことは何ですか？

- \*自分自身に 3
- 子どもと上手にやれない/子どもを挟んだ親同士の付き合いが上手くいかずイライラし、その矛先を子どもに向けてしまう/世界中がいろいろな面でも不安なのに、自分はなにもできない、ついていけない 2
- \*子どもへの虐待(社会の事件) 2

2. 最近、感動したこと・うれしかったことは何ですか？

- \*子どもの入園・卒園、入学・卒業 4
- \*娘の足の骨折が完治したこと
- \*肩こりと腰痛で、背中の痛みがなくなった
- \*子どもが自立してきたこと
- \*学生時代の友だちとホテルに泊まったこと
- \*十年振りに合唱を再開したこと
- \*通いたかった自然食料理の勉強会に参加
- \*育児サークルの仲間と心が通じあうこと
- \*家庭が充実している \*仕事が軌道に乗る
- \*ベガルタ仙台がようやく勝ちはじめたこと
- \*イラクの日本人3人の人質解放

3. 最近、力を入れていること・ハマっていることは何ですか？

- \*自分自身(趣味・学習) 11
- 再就職のための資料集め、勉強/歌の練習
- /宝塚観劇/PCや携帯等を使いこなす

4. 最近、気になっていること・関心があることは何ですか？

- \*健康・美容等・学習 6
- 自分の健康/更年期の体調/ダイエット/導引術/アサーション・トレーニング
- \*子ども 4
- 思春期の子ども/登校拒否/三年保育か二年保育か迷っている/習い事をさせたい
- \*今後の生活設計 3
- 自分と夫のこれからの生活/年金問題/自分の仕事(今後どうするか)
- \*イラク問題 3
- \*親同士のコミュニケーションのとり方
- \*生活のやりくり
- \*ねこに子どもが生まれた
- \*独身時代のように海外へ出ることはできないが、できるだけ世界中の国のこと(生活・自然他)を知りたい

5. これからやりたいと思っっていることは何ですか？

- \*仕事・資格 6
- 翻訳/パソコン/保育士/手に職をつける
- /ケアマネージャー/福祉の仕事復帰
- \*趣味・ボランティア 7
- 車の運転/東海道を完走/スペイン語/歌の勉強/子連れ旅/朗読(ボランティア)
- /編み物/ダイビング
- \*自然療法 \*アサーション・トレーニング

6. 子育てストレスを感じたことがありますか？(ある・ない)

- ある 17
- どんな風に? 7
- \*子どもと思春期
- だんだん言うことも聞かず親の目が届かない所に行くのでどう接したらいいか/思春期の子どものかわし方/親を馬鹿にする/反抗的な長女と性格のむずかしい次男/子どもと接触する時間が長い/いつでも子どもと一緒でひとりきりになる時間がない/子どもが言うことを聞かないとき「何で私ばかり(夫でなく)」と思う
- \*「いい母」に選ばれ
- どうして私だけ何もできない?と落ち込む
- 「キチンとした母でなければ症候群」になった/「いいお母さん」にならなくちゃという思いにさらされて
- \*親同士の関係が上手くいかない。子どもも

7. (i) 今「仕事」をしていますか？

- いる 14
- いない 9
- どんな「仕事」を、どんなペース・条件で? 2
- \*薬剤師(週2回、103万円まで)
- \*看護師(フルタイム、パート)
- \*正職員(フルタイムで団体職員)
- \*教職(週5日) \*先生(延長保育の)
- \*ホームヘルパー(週休2日、月13万保障、社保加入、ガソリン代会社持ち)
- \*相談員(週5日、6時間、委託職員)
- \*編集事務(契約社員、社保などあり)
- \*スミシングコーチ(インストラクター)
- \*PC入力を下受けた単発(5文字1円)
- \*自宅でイトオテルミーの施術をやっている
- \*雑務(以前勤めていた会社で2、3か月に1回 一週間程度)、カタログ配り

7. (ii) 今していない方、今後「仕事」をしたいと思いますか？

- 思う 4
- どんな風に? 9
- \*二人の子どもが小学校に入ったからパートで

8. あなたの家庭は会話が多い方ですか？

- すくすく多い 14
- 少ないかもしれない 5
- すくすくない 1
- 誰とどんな話をしますか? 11
- \*全員で
- 子どもの学校や友だちの話が多い/日中あったこと/夫の母とも普通の日常会話や世間話/食事の時
- \*子どもと
- 学校の話/部活動/友だちのこと/趣味/ボイスカウト/日中にあったこと
- \*夫と
- 子どもの学校や進路や生活のこと/いろいろなことを話すがまだ話足りない/テレビを見ながら国や政治家の話/テレビの芸能などどうでもいい話/テレビのナイター
- \*夫とは事務連絡とスケジュール調整のみで子どもとはあらゆる話の困難い事も理解してくれて大変おもしろい
- \*子どもはあまり多くを語ってくれない。そういう年なのかもしれないけれど、悲しい

9. 近所・職場・ママ友・親戚・家庭など人間関係上の悩みがありますか？

ある 15  
 \*近所・PTA等のコミュニケーション  
 \*子どもの不登校、かまひすぎ、かかわり  
 \*ママ友、家族ぐるみの友だち、  
 \*自分の親との関係  
 \*夫とのかかわり \*夫の実家  
 \*職場の人間関係  
 ないといえは、今はない 9

10. ふだんのコミュニケーションはどんな方法を使っていますか？(%)

携帯メール 15 携帯電話 14 電話 15  
 ファックス 30.7 手紙 0.3 パソコン 25  
 会う 15  
 その他  
 \*あえて携帯メール持たない  
 \*相手によって全然違うので答えられない

【あなたとあんふぁんて】

11. 入会のきっかけ・理由は？

\*育児雑誌や本などを読んで  
 \*『ひとり子育てしないで』を読んで  
 \*子育て中の社会とのつながりや密室育児を抜け出すため  
 \*あんふぁんて先輩会員から誘われ  
 \*朝日新聞の記事  
 2 4 4 5 6

\*自主保育に入ったため  
 \*『お産サイドブック』を読んで

12. 入会してからどれくらい経っていますか？

半年以下	0	1年未満	0
1〜2年	1	2〜3年	2
3〜5年	1	5〜10年	11
10〜20年	8	20年〜	0

13. 退会しようと思ったことがありましたか？

ある 12 その理由は？  
 \*テーマによっては興味がわかない  
 \*会報を読まなくなった  
 \*収入が減り節約のため  
 \*投稿規程の言葉遣いが自分流儀と合わない  
 \*参加していないとつながりが感じられない  
 \*読むだけ会員でいいのかしら...?と悩んでない 9 その理由は？  
 \*会報を読むだけという時期もあったけど、何となく離れがたかった  
 \*友人のない私にはグチの場だし、他の人の話も興味あるし

14. 会との関わり方・参加の仕方は？

a. 会員とのコンタクトをとった 15  
 b. 会合やイベントに参加した 15  
 c. 投稿やアンケートの返事をした 19  
 d. 会報編集をした 13

【あんふぁんてとは】



19. あんふぁんてが30年続いていることをどう思いますか？

\*すごい、すばらしい、とてもすてき 14  
 \*続けていくことの大変さに頭が下がる  
 \*支えてきたスタッフの苦労・努力があった  
 \*自分の思いをぶつけられる場、元気が出る

20. 各年代への印象・意見を聞かせてください。ちなみにあなたは( )代ですか？

あなたは 30代 6 40代 13 50代 2

(10代〜70代についてのコメントの回答は、アンケート特集の紙面の関係で省略します。)

21. あんふぁんての社会での位置付けをどう捉えますか？

\*生産力の弱い、でも未来へのパワーを抱えている世代からの発信地(社会に向け) 3  
 \*しっかりした基盤、信頼・信用がある 3  
 \*とっても大切な場所 2  
 \*働きかけで、各施設で保育するきっかけに

22. あんふぁんてとはあなたにとって、どんな存在ですか？

\*自分を見つめる、認められる、確認する 7

e. 事務局に電話や手紙を出した 14  
 f. 会報を読む 18  
 g. 保険を目的としている 1  
 h. 発送を手伝った 6  
 i. イラストや入力をした 8  
 j. スタッフとして企画や活動・手伝をした 3  
 k. ホームページにアクセスした 6  
 l. その他 3  
 \*事務局スタッフをし素晴らしい経験をした

【会報について】



15. この1年間の会報はどうでしたか？

各号に△a. 面白かった▽は○、△b. わりと興味ももてた▽は△、△c. 印象に残っていない・興味ももてなかった▽は×の印を。  
 2003年5月号  
 『週5日制でゆとり教育なの？』  
 △a. 8 b. 6 c. 3 v  
 2003年6月号『北から南から』  
 △a. 6 b. 8 c. 2 v  
 2003年7月号『ママ友の人間関係』  
 △a. 13 b. 5 c. 0 v  
 2003年8・9月号  
 『今の私とこれからのあんふぁんて』  
 △a. 6 b. 11 c. 0 v  
 2003年10・11月号  
 『長崎の少年事件に思う』  
 △a. 9 b. 9 c. 2 v

\*心の支え、正直に出せる、元気になれる 6  
 \*本音を話せる仲間、出会いがある 4  
 \*ないと困る、一箇所こういう所がほしい 2  
 \*最近密室育児をしていないから必要ない  
 23. あんふぁんてを他の人にどう説明していますか？  
 \*育児、女性サークルで色々な話が聞ける  
 \*子育てサークルの草分け的存在  
 \*自分らしく生きたいという思いをもっている、親でも、子の無い人でも入っている会  
 \*ホームページを見てと言っている  
 \*会報を見せる  
 \*あまり機会がない  
 \*昔は子育てから、社会を考えるとこころだったけれど、今はムズカシイ

24. あんふぁんてが解散してなくなったら、あなたはどうしますか？  
 \*OG会の飲み会など連絡を取り合う 6  
 \*とても残念、悲しくため息をつく 6  
 \*つながりは切れるかもしれない 3  
 \*生き方は確立しているから変わらない 3

【これからのあんふぁんて】

25. これからあんふぁんてはどう進んでいくと思いますか？

\*今のままの活動がベストですが... 3

\*HP、インターネットをもっと活用する  
 \*会の運営を簡素化し、季刊発行でもよい  
 \*交流する場を増やしたり、イベントを行う  
 \*特集づくり誰でも参加できる今の形を維持  
 \*子育てを中心にするのか、子育てがある程度  
 度終わってしまった人を対象にするのか、  
 はっきりしてほしい  
 \*一度解散して、再度希望者が別の団体とし  
 て立ち上げるのもう一つの選択かな

**26. 経済的なピンチはどう解消したらいい  
 でしょうか？**

\*紙代や印刷代を切り詰める 4  
 \*FAXやパソコンを使い郵送料を減らす 3  
 \*寄付を募る 3  
 \*会費の値上げもやむを得ない 2  
 \*会報を減らす 2  
 \*広告等を入れる 2  
 \*人材派遣会社をつくって、利益の一部をあ  
 んふぁんてや社会に還元していく

**27. 会員増に対して何かいいアイデアはあり  
 ますか？**

\*育児雑誌、新聞、地方紙、情報誌などマスコ  
 ミにPRし、各施設にチラシを配る 6  
 \*イベントで一時的に増やす  
 \*会員同志コミュニケーションの場を増やす  
 \*幅が広がれば、独身も可に(入会)なるか



**33. あなたはこれからのあんふぁんてにどう  
 関わっていきますか？**

\*アンケートに答えたり、投稿したりして  
 参加したいです 2  
 \*会報を読むだけ 4  
 \*スタッフやれますが、毎日はキビシイ  
 \*これから少しずつ子どもも大きくなるので、  
 今よりはイベント等に参加したり、お手紙  
 を書いたりできるようにすると思ふ  
 \*地方でできることをやっていたい  
 \*子育てのあいまにできる範囲で参加  
 \*手伝いはできるが、スタッフにはなれない  
 \*今、娘の病気のことで頭がいっぱいだけど、  
 せめてこのことを伝えようかな  
 \*地域のNPOでの活動が増え、他の部分の  
 余力がまだない

**34. あんふぁんての会の存続についてどう  
 考えますか？**

絶対に解散はしないという方向で  
 解散を視野に入れるのもやむをえない  
 解散した方がいい  
 \*私にとつてはとて大切な存在なので  
 \*私があんふぁんてを好きなのは、自分を認  
 めてくれる場であるということでした。特  
 集スタッフがいらないということであれば、  
 こちから声をかけてやってもらいうとい  
 うことも

**28. 保険はどうしたらいいと考えますか？**

\*今のまま保険は続けてほしい 5  
 \*必要な人、必要なイベントの時だけに  
 \*負担になるのなら無くてもよいのでは 5

**29. ホームページはどういう方向に向うのが  
 いいと思いますか？**

\*会員同志の情報交換、話し合える場  
 \*書き込みなどできるようにしてほしい 3  
 \*あったらいいが 2  
 \*紙による印刷の(会報)配布でなく、  
 パソコンによるアクセスができれば  
 \*よく分からない 2  
 \*我が家にパソコンはないので...

**30. 事務局・スタッフ・代表のメンバー交代  
 の道すじはどうつけたらいいでしょうか？**

\*子育て一段落の40代が、事務局スタッフに  
 ベストかな  
 \*幼稚園児・小学生のいる人も参加しやすい  
 時間帯に沢山の人が集れる交流の場をも  
 ち、交流の中からスタッフとして育ってい  
 けたらと思う  
 \*スタッフは首都圏に住んでないと難しい  
 \*まず会の方向性をはっきり決めて、それに  
 ふさわしい人を  
 \*どんな人材に受け継ぎたいと常々思  
 ってますが、とても難しく私には何のア  
 イデアも思いつきません  
 \*わかりません(やったことないので)

**31. 会報の改革案はありませんか？**

\*発行回数は少なくなりましたが、その分、  
 内容はより充実したと思います。今横書き  
 のものが多いのに、縦書きでこの「あんふ  
 あんて」は私にはありがたいです。もう少  
 しこの発行数でいくといいと思います  
 \*2カ月毎の発行のままでよい  
 \*会報は年4回でもよい  
 \*季刊発行でもよい

\*特集を担当する人がいないのであれば、手  
 を挙げてくれるのを待たずにこちらから  
 お願いしちゃおう! というのはどうでし  
 ょうか。もちろんサポートは必要ですが  
 \*会報発行回数が減るとあんふぁんてとの関  
 係も遠のいてしまいうそでさびしいです。  
 中古の印刷機等を購入して手書き、ワー  
 プの記事を事務局で印刷するのはどうで  
 しょう? 少しコストが下がるのでは?  
 \*むずかしいかもしれませんが、会報以外の  
 特集があればおもしろいかも  
 \*わかりません

**32. 会費制は今のままでいいのでしょうか？**

\*会費は今のままで  
 \*会費は値上げしないでほしい 4  
 \*月500円だと友達に声をかけても高いと  
 言われそうに思う/年会費が6000円は  
 きびしい時がある  
 \*会費はこのままにして運営費の賛助金のよ  
 うなカンパを募る

**35. その他なんでも**

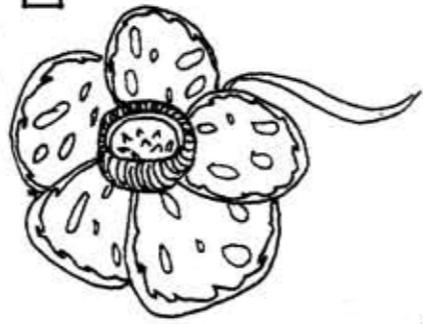
\*私にとつてはとて居場所なので、読  
 むだけの会員でも活動が続けられるよう  
 に何かしたいが、現在は力不足です。スタ  
 ッフの方には本当にありがたく、またすま  
 なく思っています。在宅しか協力できませ  
 んが、まだ手伝えることがあればできるだ  
 け参加したい  
 \*私自身、自分の興味や状況に応じてあんふ  
 あんてと関わってきて、とても居心地よか  
 った。それで許されていたし、何も強制さ  
 れることもなかった。今後会員の誰かやス  
 タッフの負担がものすごく増えてしまひ、  
 背負えなくなるのなら解散も仕方ないの  
 では? 様々な年齢の会員がいてそれも  
 魅力だったが、会発足当時と会員の考え方  
 や会への思いはかなり異なってきた  
 ように思う  
 \*遠方会員のためなかなか実際にかかわれな  
 いので、アイデアも責任をもって出せない  
 \*解散はしてほしくないが、経営的に無理な  
 のは知っている、最悪の場合仕方ない  
 と思う。他の諸サークル、団体はどのよう  
 に乗りきっているのだろうか。参考にでき  
 る部分があれば参考にすることも一つの方  
 法と思う



2004年来期案決定交流会に向けて  
※参加できない人も意見を寄せてね!

今月の表紙の詩は「あんふぁんて」ができてきつかけとなった魔女コンサートの企画意図を基に作り直した。  
女たちが家で簿(家事)を抱えるだけでなく、それを、魔法の箒に変え空を飛ぶようにのびのびと生きていこうよ。そのために必要ならあらゆることを活動として行こうと始まったのが「あんふぁんて」。一人では何もできないけれど、人と人が出会い意見を交換し合う中で様々な発見があり、自らの成長がある。そして、それらを社会に反映させていく事も可能な「あんふぁんて」の活動が、ここで途絶えてしまうのは勿体無い。30年前の原点を再確認しつつ、今できることを積み上げながら明日に繋げていきたい。(井上)

今年の交流会は8月25日(水)池袋の「エポック10」で。大事な話し合いなので、多くの人の参加を!(左の地図とP16参照のこと)



ミニ特集  
〜彼について思うこと〜

夫やパートナーと暮らし始めて、子育てして、早や数年/数十年。それぞれに忙しい毎日の中で、女はお母さん役、妻役に埋没しがちです。

不倫の恋も何のその、とまではいかなくても、時には女性として注目されたい、人生を楽しみたい、ボーイフレンドくらいいたらいいなあと思っているのです。こそこそした不倫でなく、もっと自然に男性とおつき合ひできないかしら?

長年の会社勤めで、男尊女卑の企業風土にうんざりして、退職後は男に頭を下げるなんてまっぴらと思っていたのだけど、女性ばかりとつき合って、男性との接触が極端に減ったら、体に異変が起きました。大げさですけど、毎月の生理の始まる時期が男性との接触(別段恋愛感情のない男性を含めて)の有無に左右されるようになったのです。これって、今の私の生活が不自然なのかな?  
(角谷)

この一年(活動報告)

- ①事務局については、川崎・井上それぞれが各々の諸事情により、毎日詰めるのがムリとなり、現在は週一程度交替で郵便物整理等に通い、あとは電話・FAX・メールを転送して川崎が自宅で処理している。
- ②会報は隔月発行にして何とか発行を続けてきたが、会員一人ひとりからの投稿や特集をやりたいというグループや個人の声も無い為、この形ですら維持は難しい。
- ③会報に関しては、『子育て広場トライアル』は会員の利用が少なく、また、この『トライアル』が目指す「地域で互いに子どもを見合い、育て合う事を通して人間関係を学ぶ」という目的より、安価な託児場所としての会員外の利用が多い事に加え、保育者の確保も難しい状況だった。その他では、夜の飲み会は好評だったが、平日昼間の集まりは反応が乏しい感じだった。
- ④グループについては、各々の活動報告もあまりなかった。活動状況については、前回同封した『グループリスト改訂版』を参考にして欲しい。
- ⑤ホームページ・ネット使用状況については、事務局へのアクセス手段として電話や手紙より増えている。
- ⑥金銭面では、会報の隔月発行化、四月からの事務局人件費凍結変更などにより、当面何とかやってくる事ができた。

来年度のこと(提案)

- ◎基本方針について
  - A. 現状を受け入れ、ムリをせず、今できること。をやる。
  - B. 考え方の理解者・共感者がいることで、心の支え。となる存在を維持する。
  - C. 人とのさまざまなつながり方を模索し、ネットワーク。づくりをめざす。
  - D. いわば「人間本館」としての「あんふぁんて」を活用させる。
  - E. 「子育てにこだわらず」、幅広いテーマを取り扱う。
- ◎具体的には
  - ①会報は、従来の冊子の形の維持は難しいため、ムリして特集を組まず、情報や原稿が集まった時に発信する不定期の通信としたらどうか。配信方法は、従来の郵送に加えて、メール(PC)・FAXも可能な形に。また、テーマによっては取材依頼もし、薄謝の支払いも検討。
  - ②事務局スタッフのメーリングリスト化。従って、遠方の人も含めて新規募集する。スタッフは相談事案の連絡には必ず目を通し、意見を出して決定参加し、具体的にできることは積極的に分担する。
  - ③事務処理簡略化の一つとして、会費の納入時期を四月・九月の二回のみにと定める。
  - ④もつとネットやHPを活用。スタッフがいれば、会員専用の書き込み可能にしたい。
  - ⑤相互扶助の基本となる保険は、個々の預けあいを支えと共にあんふぁんて主催行事の保険でもあり、分割不可能なので継続。

四十路にて思うこと

町田市

ン年前(自分でもいつのことか覚えていない)、会報にセックスストレスの投稿した当人なので、「彼」と言ってもモチロン夫のことではないし、個人的にも居ません。  
先日(といっても数年前ですが)「結婚までは真面目なおつきあいを」と思われる女性には、逆に結婚していけば、家庭をこわしにくいから、男性目に浮気のターゲットになりやすいということを身をもって知ってしまい、「そういうもんなんだ」と変に感心してしまいました。  
それで、仮に浮気したら、と考えてみたら家に夜がないのに、外の昼が夜なんて、とてもなくムナシイと思えましたね。  
独身の夜が夜、昼が昼のうちに、気ままな恋愛をしたかった、と思うと、四十路を廻ってムナシイですよ。  
ひとつ考えているのは、私は長生きの家系で夫婦の年が離れているから、おばあちゃんになつた時に、彼氏がほしい、ということですね。

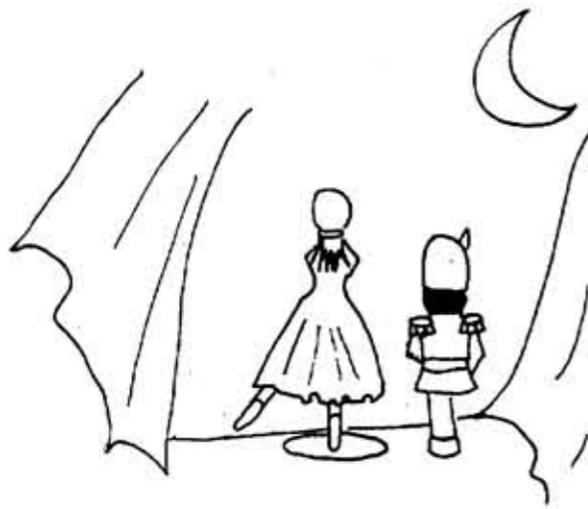
バランス

さいたま市

私の幸せのためには「女の私」を満たされる事が重要だ!と夫がいなくなつてから痛感した。自分でもビックリ!そんなはずは無いのでは?だって、散々夫の「男」の部分と戦

って疲れ果てたんじゃない。しばらく自分を見つめて居たが、やっぱり私には「男」が必要だと認める事にした。  
「チャン可愛いね」なんて言ってもらいたい。寂しい時、「抱っこして!」と甘えたい。大人だからこそ、甘え上手にならないとバランスを崩すと思う。  
「男」のどの部分が必要なの? どういう「男」がいいの? 封建的な「男」はまっぴら後免。だったら「女」の方が良いのかも? つまり、性別に関係無く人間を丸ごと(性欲)を含めて受け止め合う相手が欲しいんだと気がついた。  
自分でとりあえず欲しいものは買っても、プレゼントはうれしい。スーパの帰りに重い荷物だつて持てるけど、「僕が持つよ」なんて言ってもらえたらなにかうれしい。優しくしてもらえたらなにかうれしい。心が溶けて行くんだな。意地悪したいと思う気持ちもどうでも良くなってくる。子どもだつて優しくしてくれる部分もあるけどやっぱり違うんだよね。いま、私の「女」の部分を満たしてくれる彼を得て、幸せを感じている。





ました。彼とくらべて、パートナーと一緒に過ごすことの心地よさを再発見し、なぜ私がこの人と一緒にいるのかははっきり見えてきました。

そういうえば「結婚相手は、偶然の結果と選んでいる人もいるが、無意識下できちんと選んでいる」と何かの本にありました。もちろん彼と会うチャンスは少ないけど、「仕事休んでまで無理に時間を作ったりすると、それがなくなるから、やめよう」と言われて、なぜかしたら、ほっとしています。

この先、どれくらいつき合えるのかはわかりませんが、子どもの成長を考えると、やはり限界を感じます。でも思いがけず今、彼が見つけたことで、またいつか恋愛できるかもしれないと希望がわいてきました。

● 昔の話です。母親の友人が恋人を作ったと奔走したんです。夫と中学生と小学生の息子二人を置いて、結局は元の鞘に収まって田舎に引っ越したけど、子どもは傷ついたろうなと思って。

● 育児仲間四人の中の一人が起した事件で母親を含む二人は彼女と絶交しました。「あの人は夫と子どもを捨てたから」という理由を聞いて、ものすごく違和感を感じました。母親はその人個人とつき合っていたわけではなく、友人に一般名詞のお母さんを選んでいただけでした。

● 残る一人は事件後も変わらず彼女と友達つき合いを続けたのを知って、大人だなぁと尊敬しました。

● 「彼氏にまつわるあれこれ」  
職場で、ある課長とパート女性（双方四十代）が不倫関係になり、大胆にも二人で休んで一泊旅行へ。課長は出張と偽ったが、妻からの電話で嘘がばれて、パート女性は即解雇。男性は部長に口頭で注意されただけとおとがめなし。世の中は男に甘く女に厳しい！

● 五月の連休に、ラブホテル初体験！（もち夫と）あちこち車で物色して、昼間なのに満室で入れなかつたりウロウロ……。これでもう誰とでも行けるねと夫と冗談を言いつつ帰宅したけど、もしヨソの男性にホテルに誘われたら（軽蔑しちゃって）絶対に行かなかつたと思います。

◆ 朝霞市  
いつも会報をありがとうございます。毎回すみずみまでじっくり読んでいます。アンケートの回答、遅くなってしまいがちな生活の四月から娘も中一になり、新しい生活になりました。また五月から、主人がマンションの理事長になりました。鉄部塗装の年でもあり、仕事も多いです。管理規約等もあんなにじっくり読むのも初めてに近いです。マンション管理士も面白い職業かも、なんて思います。もし、この資格試験を受けた方がいらしたら、教えて下さい。

● 子育てしながら悩みながら、自分も育てている感じです。

◆ 名古屋市  
ご無沙汰しています。これまで以上に読むだけ会員となってしまいました。運営の状況の悪化については、とても心配しています。地方にいるとできないことも多く、もどかしい気持ちもあります。

● 来期アンケート送付時のお便りから  
「来期アンケート送付時のお便りから」



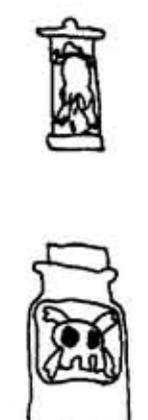
夫から離れたたい

さいたま市

ここ数年、夫の仕事が超多忙で平日は一日か二日しか家に戻らず、どうかすると休日もつぶれるような生活が半年以上続いていた。母子三人の週末は割り切って、私の行きたい所に出かけて遊んでいたのだが、最近、夫は仕事をもち帰って、土日の二日間家にいるようになった。

子ども達に手がかかる時期だったら、子守&手伝いの手が増えてうれしかったのだが、今は家族べったりの時間を持って余し気味。土曜日、私一人で定期的に出かける場所を見つけては、夕飯の下準備をしてから出かけるので結構面倒。（朝食作りは夫が担当しているので夕食もお預ねねとはいえない。）やらずに放棄すれば何とかなるのかもしれないけど、家族旅行も二泊三泊して、一緒にいる時間が長くなると夫に対してイライラしてしまう。

● もう家族全員でなく、別行動の時間を増やした方がいいのかもしれない。今は子どもがいるから何とか間が持っているけど、いつか夫婦二人きりになった時、どんな風に過ごしているだろうか？ ちょっと不安。忙しくてこれからのつなげられる何かを探してじたばたしている今日この頃。



亡くなった幼なじみの彼について

豊島区

四月二十六日に、私の小、中学校の同級生の隆君が、四十五才で亡くなりました。彼とは、二年前の五月に、中学校の同窓会に出席した折りに会ったのが最後となりました。

● 彼は独身で、私が「今の夫と離婚したら、私がお嫁さんに行くからね」と言うと、「ああ、分かったよ。せき（席、籍）をあげてやるよ」と答えてくれる存在でした。隆君が亡くなったことを、実家の母が電話してきたとき、母は、「なに不自由なく生まれ育った人と思っていたのに、とても残念な人生だったわね」と嘆いていました。

● 私は昭和三十三年生まれです。小学校に入学したのは昭和四十年ごろです。まだ、埼玉の秩父地方は、おだやかな土地柄で、小学校一年のとき、隆君は一番背が高く、私は一番おチビさんで、よく隆君が私をオンブして歩き回ってくれたのを、思い出します。彼は、高校から立教に進み、今の私の自宅の近くの立教大学で四年間をすごしました。

● 私は、告別式に参加することもままならず、電報を打つだけで、立教のチャペルに一人で行き、彼の信じていた宗教はわかりませんが、心から手を合わせて、私なりに別れをしました。彼は一人っ子だったので、両親を見

送る、二度目のお母様と妹さんに見守られ、消えていきました。

● 今、私が彼と違って思い浮かぶ人は、隆君しかいません。彼は妻子を残すことなく、本当に文字通り消えてしまいました。

● その生き方は、わたしの目標とするところでは、彼とは（毎日一緒にいる夫よりも）私の心の基本のところ、深く結び付いていたような気がします。二女も、「やっぱり隆君は、ママの心の彼氏なんだよ!!」と言ってくれました。私の打った電報をもう一度書きます。

● 「隆君、あなたが亡くなるなんて信じられません。今はただ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。」

小さな楽しみ

E・M

今、パートナー以外に好きな彼がいます。彼と二人で過ごす時間が、私にとってはとても大切なひととき。言い訳できる範囲内でも、パートナーには絶対にばれないように細心の注意をはらっています。

● 少しずつ、お互いのことを知っていく、徐々に味わうワクワクした気持ち。相手に多くを求めすぎず、わかりあえる部分があればいいと思うから良いのでしょうか。反面、自分の家族には多くを求めてしまうものですね。彼とつき合うようになってから、私が優しくなったせいか、パートナーも穏やかになり、ギスギスしていた雰囲気も和やかになってき

あんふぁんてから  
あんふぁんてへ



◆伊奈町

昨年五月頃学校を休んでいた事のある娘が、今年もまた調子を崩しました。  
 昨年は受験ノイローゼなのかと思ひ、また高校入学後のいろいろな疲れが出たのだと思ひましたが、今年もまた四月下旬から休みが続く、一週間休んだ時点で心療内科を受診し、その日から外出せず、だんだん自室から出てくる回数も少なくなりました。  
 診断は「うつ」で、薬も処方されました。  
 今思えば、昨年の受験前から六月くらいまでの半年間「うつ」で、夏休みの頃は異常なくらいハイな気分だったのですが、「そううつ」だったらしいです。一日三時間くらいしか眠らず、せんたく、そうじ等の家事もテキパキと処理し、アルバイトや部活をバリバリやっていました。  
 彼女にしてみれば、心療内科というか、外出することすらかなりエネルギーをばたかして受診したのですが、私が薬を受け取ったりのため待合室に残っている時に、そっと車にもどり一人で泣いていました。「もう出たくない」と言っていました。その時に処方された薬は二週間分、「何か今まで感じたことのない頭痛がする」と言うので医師に伝えたとこ、その薬は止めて他の薬に代えて、十日目です。薬の効果で不安をおさえ病院に行き、医師

が娘の様子を診る医療のレールにのせるのが今の目標ですが、病院へは私が行き、娘の状況報告をしています。きつい状況ですが、ストレスや「うつ」を抱えている人が、働き盛りのサラリーマンにも多い世の中なので、この状況の取り組みが、他の会員の役に立てばとまとめていくことも意味があるかなーと思っています。

学校も、休む連絡は、私の負担が大きいから来られるようになってからでいい、突然登校しても対応できるようにすると言っています。わりとのんきなような男性の担任ですが、夫と二人で連休直前の土曜に、娘の状況を報告しております。

何かまとまらず、申し訳ありません。来期アンケートは、書けないところが多かったです。と送付します。

今、火、金曜日を定休日にしてもらい、土日は兄妹が、日曜はさらに夫も休みなので、一週間のうち四日は娘をひとりきりにさせないでいられます。残りの月・水・木曜日にしても午後二時頃に目が覚める彼女にあわせて、少し早く帰宅できるように、二時から四時の仕事をはずしてもらいように会社に要求しました(土日、早朝、夜の仕事を振り替える条件で)。

今は不安が強くなるから出られないので、まだ家族の目が届くけど、回復期が危ないらしいです。医師に相談したら「自殺は誰にも止めれない。ふっとひきこまれるように逝ってしまう」と言われました。初詣ぐらいしか、神の存在を思い出せない私ですが、神様に守ってもらえないのかもしれないかもしれません。

◆豊島区  
 毎年更新の時期になると、今度こそ辞めろぞと思いつつ、結局遅れて払い込んでしまひ、ずるずると会員を続けていました。子どもたちは十九歳と十四歳になり、幼い子を育てるという時代は、遙かなかなたのものとなりました。  
 それでも会員を辞めなかったのは、「あんふぁんて」という会が好きで、記事を読むだけ会員でもないよりいいかなと、思っていたからです。元会員として、何か手伝えることがあればとも思っています。  
 子どもも、もうすぐ二十歳になり、成人となります。こうしてあんふぁんてを「卒業」していくことを、告げざるをえない状況、ご理解いただけたら幸いです。

◆小諸市

突然ですが、ここ数年「人とのつながり」ということが今の私の生き方、暮らしの大きなテーマになっています。人々の出会いの喜び、大変さetc...。色々感じる事が多く、そう考えると、あんふぁんては私が全国の会員の人とどこかでつながっていると思うと、すごいことだなと改めて思います。  
 あんふぁんてって、人材の宝庫って思います。そして、会ったこともない人とも、「あんふぁんての〇〇です」で、連絡ができてしまう。本当にすごいことだと思ひます。会がどのような方に行っても「あんふぁんて」でつながれた人たちの輪がときれずいいてほしいなと思ひています。

エポック10まつり

2004 輝いて女と男 参加企画

「その1」  
 自分らしく生きるために  
 ワークショップを通して  
 今の自分を知ってみよう

自分らしくイキイキ生きていくために、今の自分を知ろう。書道の墨と筆を使い、簡単なワークを通して今の自分を客観的に知ってみよう。新しい自分を発見するために今の自分を知ってみよう。というテーマの下、あんふぁんての30周年イベントも気持ちとして兼ねて、6月12日エポック10会議室にて開催しました。0歳の子連れの人から小学生・高校生・一般人含めて14名の定員一杯の参加で盛り上がりつつありました。  
 当日の様子をお伝えしようと、ワークショップ講師の岸さんを始め参加者の方に感想を書いていただきました。(まとめ・井上)



ワークショップに参加して

あー面白かった

講師 文京区

えっ？墨と筆でワークショップ？自分ではよく、変なことを書いて遊んでいけるけど、書くことで新しい自分を発見することができるとあって「ちょっとかっこ良さげななァー」とは思いつつ、でも私がやっている事が皆さんのお役に立つならと「講師」としていっしょに書いてみることにしました。

私は以前から、自分の中から浮かんでくる文字や和んでいいなあと思った言葉などを墨で書いて、書き溜めた作品でミニ個展をしたことがありますが、その時、好きな言葉を書くという作業はそれ自体をとっても楽しめたのでまあ自分発見Vとまでいかなかったも、一緒に楽しめたら良いなと思ひました。

ただ、限られた短い時間の中でさあ書いてと言われてもねえ。私だったら「あー、やんなっちゃう」なんて書きそう。そう、身体と心は深いつながりがあるので、まず身体をほぐしたり、心をやわらかく楽にするのはとても大事なことです。筆で書く前に、イメージ遊びも含め、井上さんが引受けてくれた導入はともよかったです。もって時間とスペースがほしかったと思ひますが、

でも、参加した皆さんは、なかなか気持ち良く書いてる様子に見えました。何を書くかと言う事も大事ですが、何より筆で書くのはなかなか良い気持ちなんです。学校や書道塾のようにAこう書かなくてはいけませんVと言うのがなくてA好きなことを好きなように

に書いて良いんだよVという風だったら、書道ももう少し楽しめると思うな。  
 また機会があったら、今度は、もっと大きな紙にゆったりした時間をとって書いてみたいと思ひました。

夢中になれるひと時でした

三鷹市

夫と五歳の息子と一緒に参加しました。約一時間半のワークショップは、子どもにはちょっと無理かな？とも思ったのですが意外や意外、集中して何枚も書き続けていました。息子は五歳になってから少しだけ字に興味が出てきて、自分の好きなひらがなを鉛筆やサインペンで書いていますが、筆は鉛筆などより自由に気持ちよく書けるようです。ワークショップのあと家で筆を使って(我家には書道の道具が無いので、絵の具と絵画用の筆を使っています)書いています。書くというより描くという感じで。  
 いわゆるA習字Vでなく自由に自分の書きたいことを書くので落書きのような感じでしょうか。夢中になれるひと時でした。

高二の娘といっしょに参加

荒川区

私は、小学一・二年生の二年間お習字の教室に通っていました。その後小、中、高と授業にお習字の時間がありました。高校の習字の時間は、芸術科目としてのお習字で、お手本を写す授業の時もありましたが、今回のワ

「ワークショップのように、自分の好きな文字を自分の感性で表現した時もありました。その後学校を卒業してからは、筆や墨に触れることがなくなりましたが、子どもが生まれ、習字の教室に通ったり、学校の書初めの宿題がでて、そんな時に私もいっしょに何枚か字を書いたりしていました。

白い紙に黒い墨で、まず一筆書き始めるときの緊張感と、書き始めて自分の筆が文字を白い紙の上に形にしていくなかの爽快感が、とても気持ちよかったです。今回のワークショップでも、ほとんど深く考えることなく思いついた文字を思いつくままに、気持ちよく表現できて楽しかったです。身近にある筆と墨ですが、日常触れることなく通り過ぎてしまっています。また、せわしない毎日の中で、筆と墨をだして字を書いてみようかな、なんて余裕もないので、またこんな機会があったらいいなあ、と思います。

高2の娘は、小学一年生の時から習字の教室に通い始め、今も続けています。今回のワークショップに参加したのは、こんな「世界」なんていうとちょっとおどろきですが、それを経験するのいいだろうなあ、と思ったので、無理やり連れて行きました。

娘は、人前でなかなか自分をだせないようなので、多くの人がいるところで、自分を表現することも経験し、自信につながっていくという思いもありました。習字の教室の時とは違い、好きな字を自由に書いてとても楽しかったようです。「ワークショップに参加してよかった」と、言っていました。

「その2」  
「子育て中だからこそ仲間が欲しい」  
— あんふぁんての30年を —  
活動場所から検証する —

子育てしながらいきいき生きたいと願う、「あんふぁんて」は、1975年3月の会創設以来全国各地で活動を続けてきましたが、子連れでの活動が中心であるという会の性格上、子どもと一緒に集まれる場所や、子どもを一時的に保育することのできる活動場所の確保が大きな課題でした。

そこで、30年分の会報に記された過去の講演会や交流会、子連れでのイベントなどの活動記録から、「あんふぁんて」の活動場所を振り返ってみました。(まとめ・川崎)

(※事務局や会員個人宅は除きます。)

(1) 1970年代

活動初期の1970年代には、「千駄ヶ谷区民会館(13回)」や「神宮前区民会館(12回)」など地域の施設を多く利用すると共に、新宿の「ホーキ屋」(5回)や向ヶ丘遊園の「フリー・スペース」(5回)、浜田山のあるあんふぁんて事務局に併設していた「保育室グリーン」(7回)、大田区大森や新宿区高田馬場の時間託児所「みず・でっぽう」など、自分達で創り出したスペースの利用が特徴的でした。これは、30年前には保育室の完備した公共施設がほとんどなかったため、あんふぁんてではさまざまな活動の折、地域の区民集会所のような所を利用したただけでなく、

民間の施設(例えば銀行の会議室など)も探して活用しました。そしてさらに、自分達らしい活動をするために、幅広い利用が可能なスペースを自分達で創っていきました。

(2) 1980年代～1990年代

1980年代には各地の女性関連施設に保育室が設置され、保育付き公民館講座などが頻繁に行われるようになり、あんふぁんてでも利用できる公共施設が多くなりました。

この頃の活動の中心は、「中野区女性会館」(81回)でしたが、1980年代後半から1990年代前半には、飯田橋の東京都婦人情報センター(7回)や三鷹社会教育会館(8回)も利用するようになりました。

東京以外では、大阪の「ドーンセンター」(10回)、「かながわ県民活動サポートセンター」(5回)、「埼玉県民活動総合センター」(5回)などがこの時期の主な活動場所でした。これらの保育室を完備した公共施設は、子連れで、または保育付きで活動する私たちにあって、非常に重要な活動拠点でした。

豊島区では1980年代には「豊島区民センター」をコンサートや10周年イベント、「若い母親のための子育て講座」の開催など6回にわたって利用する他、地域の図書館や区民集会所なども利用していました。



1996年からは「エポック10」が「としま・あんふぁんて」の活動拠点となったこともあり、ミーティングやビデオ上映会などに30回以上利用したほか、区の委嘱学級やエポック10祭りなど豊島区関連の催し物の会場としても、15回にわたり利用しています。

(3) 2000年代

1999年に行なった保育室全国調査の作業には、14回にわたって「エポック10」を利用しましたが、この調査結果をふまえて①子連れで遊べたり、②じっくり話し合えたり、③子どもを預けてリフレッシュしたりできる場の必要性を痛感したあんふぁんては、「エポック10」を主な活動場所として「子育て広場・トライアル」を開始しました。これは、30年前の「みず・でっぽう」での活動を、公共施設の保育室に移したものと云えます。「子育て広場・トライアル」は、現在までに30回近く行われています。

★子連れでの活動に使った場所ベスト5

- 1位 エポック10 86回
- 2位 中野区女性会館 81回
- 3位 千駄ヶ谷区民会館 13回
- 4位 神宮前区民会館 12回
- 5位 ドーンセンター 10回



(4) 子連れで遊びに行った場所  
ミーティングや講座だけでなく、あんふぁんてでは「平日あんふぁんて」「子連れ合宿」など、親子みんなで積極的に遊びにもでかけました。戸外で楽しく遊んだり、子どもを寝かしつけてからじっくり飲み会をしたり、会員間の関係を深めるのに役立ちました。

★子連れで遊びに行った場所ベスト10

- 1位 16回 南伊豆子浦
- 2位 15回 小田原みかん狩り
- 4位 4回 井の頭公園・自然文化園
- 世田谷区・羽根木公園
- 秩父キャンプ
- いわさきちひろ美術館
- 東板橋公園子ども動物園
- 東京都児童会館
- 小金井公園
- 文京区・教育の森公園

(5) 今後の子育ての場は?

現在、厚生労働省の主導で次世代育成事業が展開されていますが、「子育て支援」とは言っても保育所の待機児減らしなど、働く親の支援に偏りがち。また、母親の育児不安解消を目的として各地に「子育て広場」や「子育て支援センター」も開設されていますが、NPO等が運営する「子育て広場」は継続的に機能し続けていくには助成金確保の面など課題が多く、自治体が運営する一部の「子育て支援センター」に対しては、地域の母親の



ニーズに合わないという声も聞かれます。さらに、地域の子育て中の母親たちが自主的に行うグループ活動や保育活動に対しては、区や市が万が一の事故などを懸念して場所の提供をしづらしたり、横やりを入れるようなケースも多く、安心して「地域で子育て」できる状況ではありません。

しかし、昨年エック(独立行政法人国立女性教育会館)が実施した「子育てネットワークの全国調査」の結果を見ると、母親たちが作る子育てネットワークの半数以上が、「最も利用している活動場所」として「公民館・地区センター」と答えていることから、県や市に「一カ所だけ」というような施設ではなく、地域に密着した活動拠点が求められていることは明白です。

それらの活動拠点が、母親たちの自主的な活動を支えるような、個人でもグループでも子連れや託児付きで幅広く利用できるような「たまり場の施設」であれば、母親たちの活動もやりやすくなるのですが、

29年前の会報(1975年9月号)では、前出の「みず・でっぽう」の呼びかけとして子ども達も大人たちも自然に安心して出会う、考え合ったりできる「子どもだまり」を作ろうという文章が載っていました。

時代は変わり、安心して子どもを遊ばせられる場所探しは困難になり、自然に子育ての知恵を伝えていけるような人間関係もなくなりました。昔も今も一人で子どもを抱え込んでしまったら、せつなかの子育てが苦しくなるばかり。現代の「子どもだまり」作りがみんなの課題なのだと思います。

### 情報コーナー

★「あんふぁんて・しにあん」の企画です、一緒に参加してじっくり話しましょう。

①9月12日(日)午後1時～3時

テーマ「ジェンダー・パッシング」

場所「ほつとぶらさ」

(東上線志木駅隣男女共同参画スペース) 参加費500円(会場費他)

②10月9日(土)～10日(日)一泊

テーマ「これからのしにあん」

場所「清里」ペンション「みゆう」

宿泊費10,000円程度

申込み・問合せは松井 まで

In&FAX

★8月25日(水)は来期案決定会員交流会  
今年には特に、あんふぁんて存続のかかった重大な話し合いをするので、多くの会員の参加を待っています。(P8参照)  
場所 エポック10会議室&保育室  
(池袋駅隣接メトロポリタンプラザ10階)

①10時～1時 会員総会

②1時～3時 昼食後交流会

子連れ参加OK。弁当持参。参加できる人は8月19日(木)までに(子連れの場合は子の氏名・年齢・生年月日も)FAXか葉書であんふぁんて事務局まで申し込むこと。  
※当日急に欠席の場合は事務局留守電へ。

★「女の勝ち組・負け組」のテーマで10・11月号の原稿募集&座談会をします。どうにも気になる言葉・現象なので、意見を聞かせて！(左日程参照)

### 事務局から

●「あんふぁんてグループリスト」に掲載されている『介護を考える会』は活動停止。リストを訂正して下さい。  
●7月末の会員数は234名です。

### スケジュールメモ

8月5日(木)～18日(水)

事務局夏休み。この間の事故の連絡等はFAXか郵便でお願い。

8月25日(水) 会員交流会 (池袋)

8月29日(日) 特集座談会(幾代宅)

9月19日(日) 30周年委員会

10月4日(月) 1時から(幾代宅)

10月4日(月) 10・11月号発送  
10時半から (事務局)

●あんふぁんては、会費のみで運営している会。会費の支払いがまだの人は、至急振込をお願いします。会費が切れても本人から連絡がないと、退会や休会の措置がとれません。休・退会、転居の時は事務局まで連絡を。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

### 事務局までの地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千元)以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

第297号 (隔月5日発行)  
2004年8月5日発行  
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 8・9月合併号

発行人 /  
発行所 / あんふぁんて出版部

電話  
(☎平日12時～2時それ以外FAX)  
定価 / 500円  
振替口座 /  
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。